

登録コード	F9001090	開講年度	2026				
授業科目	教職実践演習（中・高）				担当教員	河村 隆 他	
英文授業名	Practical Seminar for Teaching Profession				副担当	藤井 善章・小山 茂喜	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	学部4年
講義室	繊維1 1 番講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 2 Fカリ						
	【2020年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し理解できるとともに、自ら適切な手段により発信し、他者に働きかける能力が身に付いている				⇔	教育実習での課題を明確にし、現職教員との対話や授業参観・授業研究といった体験的な演習活動を行うことを通して、教員として必要とされる資質や能力の向上に向かう力を身に付ける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各自の教職課程に関する1年次からの履修記録(ポートフォリオ)をもとに、「教師としての使命感・責任感・教育的愛情に関する事項」「教師に求められる社会性・対人関係能力に関する事項」「子ども理解に関する事項」「教科内容等の指導力に関する事項」の4項目についての達成状況を確認し、教職課程の最終段階での各自の課題と目標を設定する。 設定した目標に到達するための手段として、授業参観・模擬授業・フィールドワーク・教材開発等の教育臨床的内容を含む課題解決型の学習を各自が設定し、演習形式で教員として必要な知識技能を修得することをめざす。						
(5)授業計画	前半は現職教員と一緒に授業研究を行う。 ・教職の意義や教員の役割、職務内容、生徒に対する責任等 ・組織の一員としての自覚、保護者や地域の関係者との人間関係の構築等 ・生徒理解 ・学級経営案の作成 ・教科内容等の指導力について 後半はグループで、授業分析の実際を学び、自己の授業力の向上に向けて体験的な学びを理解する。 第1回ガイダンス…「教員として必要な知識技能」の確認と各自の課題の明確化 第2回授業分析の手法を学ぶ 第3回カリキュラム・マネジメントを学ぶ 第4回カリキュラム・マネジメントの視点から、教育実習を振り返る 第5回～第6回授業参観（視点を決めて） 第7回授業分析 第8回授業分析 第9回授業分析の成果発表 第10回生徒指導と学級経営 第11回教材開発(素材から教材へ) 第12回教科指導と教科運営 第13回指導案再構成 第14回学校運営とマネジメント能力 第15回成果発表・授業アンケート						
(6)成績評価の方法	臨床学習における取り組み（5割）・教材開授業分析等のレポート（5割）						
(7)成績評価の基準	規準「教育実習を踏まえて、自己の授業力の課題を明確に持ち、授業参観や演習を通して授業分析の手法を身に付け、実践力の向上に向けて探究している。」 基準…自分の課題を明確に意識し、改善のための方策を探究し、指導計画等具体を伴って再構築することができる。 卓越している（秀，90～100点） かなり上にある（優，80～89点） やや上にある（良，70～79点） 水準にある（可，60～69点） 水準よりやや下にある（不可，50～59点） 水準にない（不可，49点以下）						
(8)事前事後学習の内容	教育実習の振り返り 授業記録の作成 授業分析における他者の意見の考察						
(9)履修上の注意	教職課程受講者は必修科目である。 9月～10月前半に上田市内の小中学校でグループに分かれて、授業参観を実施します。 10月上旬には、長野県総合教育センターとの連携で授業分析を実施します。 授業参観は8時から12時30分まで 授業分析は3限から4限までを予定しています。						
(10)質問,相談への対応	随時。 藤井善章：教職支援センター（松本キャンパス）、内線811-7324、0263-37-3224 fujiiy@shinshu-u.ac.jp						

(11)学生へのメッセージ	
(12)その他	
【教科書】	免許取得予定教科の中学校学習指導要領解説・高等学校学習指導要領解説
【参考書】	参考資料等 適宜紹介する。